

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2014年度（公益財団法人）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により行う。

2. 練習は、サブトラックがないため、審判員の指示に従うこと。

3. 競技者の招集について

- (1) 招集所は競技場南ゲート付近（100mスタート付近）に設ける。  
 (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	20分前	15分前	棒 高 跳	65分前	60分前
フィールド競技	35分前	30分前			

(3) 招集方法

- (ア) 競技者は出場種目の招集開始時刻に招集所にてチェックを行う。  
 (イ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。  
 (ウ) 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て出場を確認する。

4. 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は競技役員に従い、規律ある行動をとること。競技者以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。  
 (2) トラック競技出場者は、フィニッシュライン到着後、北ゲートから退場する。  
 (3) フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員・場内司令の指示に従う。

5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、必ずユニホームの胸背に確実に付けること。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかでよい。  
 (2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方につけること。  
 (3) 3000m以上の競技（競歩も含む）は、レーンナンバーカードを使用する。

6. 走路順・試技順について

- (1) 予選における走路順・試技順は、プログラム記載通りとする。  
 (2) 準決勝以降の走路順・試技順は番組編成員で公正に抽選し決定する。プラス進出者を決める場合、同タイム者についてレーンの余裕範囲内で次のラウンドに進めるが、余裕がない場合は判定写真を拡大し、細部（電気計時2/1000）まで読みとり判定する。それでも読みとれない場合は同タイム者または代理人によって抽選する。

7. 競技について

- (1) 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。スターターの合図は英語で行う。（「On your marks」「set」）。また、スタートにおいて不適切行為があったとして、同じレースで2回の警告を受けた競技者は、失格とする。  
 (2) 事故防止のため、短距離走ではゴール到着後も自分のレーン（曲走路）を走ること。  
 (3) リレー競走に出場するチームは、その種目の第1組目の招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。提出時間に遅れたチームは当該種目を棄権したものとみなし処理する。  
 (4) 男子110mH・400mH、女子400m・800m・100mHは、予選・決勝とする。（予選上位8位）  
 (5) 男子5000m・3000mSC、女子1500m・400mHは決勝タイムレースとする。  
 (6) リレー競技において、4×100mRは、予選上位8チームで決勝を行う。4×400mRは決勝タイムレースとする。  
 (7) 5000mWは、男女同時スタートとする。  
 (8) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技妨げにならない範囲で認める。ただし、ビデオ・携帯電話もしくは類似の機器等を競技者に見せることは可能だが、競技者が試技場内に持ち込むことはできない。

8. バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。

種 目	練 習	1	2	3	4	5	備 考
男子走高跳	決勝 1 m65	1 m70	1 m75	1 m80	1 m85	1 m88	以降3cm刻みとする
女子走高跳	決勝 1 m35	1 m40	1 m45	1 m50	1 m53	1 m56	以降3cm刻みとする
男子棒高跳	決勝 2 m90	3 m00	3 m10	3 m20	3 m30	3 m40	以降10cm刻みとする

- (2) 女子棒高跳のバーの上げ方については、練習の高さを含め、跳躍審判長が決定する。  
 (3) 走高跳・棒高跳で第1位及び全道大会出場権決定の場合のバーの上げ方は、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

9. 予選通過記録

種目	男子砲丸投	男子円盤投	男子やり投	女子やり投	備 考
	9 m50	27m00	44m50	29m00	天候その他の条件で変更することもある。

10. 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使わなければならない。やりは検定を受けて通ったものを使用することができる。検定時間は、8時50分までとする。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用できる。

11. スパイクピンの長さは、9mmをこえてはならない。走高跳、やり投は12mmをこえてはならない。

12. 各種目3位までの入賞者は、競技終了後ただちに表彰する（代理でも良い）。4～8位の入賞者は、競技場正面入口で賞状を受け取る。

13. その他

- (1) 競技終了後、全道大会出場権を得た競技者の監督は、全道大会申込みを完了すること。  
 (2) 各種目の全道大会出場権は、下記の順位までである。また、8位入賞者で参加資格を得ていない者の中から標準記録を突破した者には、参加資格を与える（標準記録とは、前年度の全道新人支部予選ランキング10位の記録）。

種 目	100m	200m	400m	800m	1500m	3000m	5000m	100H/110H	400H	3000mSC	競 歩
男	8	8	8	8	8	—	8	8	8	8	4
女	8	8	8	8	8	6	—	8	6	—	4
種 目	400R	1600R	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投	
男	8	8	6	6	8	8	8	8	6	8	
女	8	6	6	3	8	3	6	6	3	8	